

一般社団法人おおさき青年会議所
2023 年度理事長所信

理事長 小崎慎太郎

【はじめに】

おおさき青年会議所は、地域とともに幸せの目的地へ向かい青年会議所のレールを歩み続けてきました。本年 61 年目を迎え、その歩みを継承し、おおさき青年会議所の新たな一歩を踏み出します。我々は愛すべき家族を持ち、仕事を行い、さらに地域をより良くするために無償の愛を持って「歩み続ける」尊き存在です。青年会議所での歩み方は、それぞれ尊重され、誰一人置き去りにすることはありません。幸せの目的地に辿り着くには、おおさき青年会議所と地域が共鳴することが必要です。我々は勇気を持って歩んでまいりましょう。その一歩一歩が自己の成長の証となり、地域と共鳴し合い、幸せの目的地へと向かうように。

【盤石な組織運営】

昨年度、おおさき青年会議所では大幅な会員拡大に成功し、地域に還元する力が増加しました。これからの組織運営にはその規模に合わせた対応が求められます。

おおさき青年会議所は、明るい豊かな地域を実現するため、運動を展開する「組織」です。単なる青年の集団ではなく組織として力強く運動を発信するためには、会員が一同に集い理念と使命を共にする機会が必要です。また、私たちの運動は地域の皆様からの共感を得ることによってより大きなものとなります。

おおさき青年会議所の基礎を盤石にし、力強く運動・活動を展開し発信します。

【会員の成長】

青年会議所は定年制です。我々は限られた時間のみ運動・活動を行うことができ、青年会議所のスケールメリットを活かし、自分自身を高められるのは現在だけです。また青年会議所は単年度制で、毎年の担いは異なり、発言や行動にも変化が求められます。地域に力強い運動を展開するために、三信条に基づき、JAYCEE としての姿勢や心構えを学ぶとともに、会員一人ひとりが JAYCEE であることに誇りを持つことが必要です。会員に成長の機会を提供します。

【おおさきの魅力を活かすまちづくり】

我々の活動エリアであるおおさきは、世界農業遺産にも認定される自然豊かな大崎耕土にあります。鳴子温泉郷をはじめとする観光資源、県北の拠点となる商工業が集積しているなど多岐にわたる分野で強みを持っています。青年会議所では、ビジョンを描き、地域

の未来のあるべき姿を創造しています。おおさき青年会議所が描くビジョンを会員と共有し、おおさきの魅力を再認識することで、まちづくりの基礎を固めます。そして、おおさきの魅力を力強く発信することで、おおさきに住まう人々がこの地域に愛着を抱ける機会を創出するとともに、我々自身も地域のことを常に考え、率先して行動します。

【地域の未来を担う子供たちの育成】

青年会議所の運動の柱の一つとして、子供たちの健全な育成があります。地域にとっての財産は未来を担う子供たちです。夢や希望を持って成長する子供たちが増えれば地域の未来は輝かしいものとなります。我々は子育て世代であり、子供たちへより良い未来を創造する責任ある世代でもあります。より良い未来を子供たちに託します。

昨今の子供たちの環境は、生まれつきインターネットにアクセスできる環境にありデジタルネイティブと呼ばれています。多くの情報に自由にアクセスできる能力に長けていますが、それを実体験として自分自身に取り入れる経験は不足していると考えます。自分が実際に体験したことと情報とがリンクして初めて自分の意見を力強く主張できる人財になると考えます。未来のおおさきを担う子供たちを、夢や希望を主張できる人財へと育成し、その人財が多ければ多いほど、明るい豊かな地域へとつながります。普段体験できない成長の機会を子供たちに提供します。

【持続可能な会員拡大】

おおさき青年会議所は、2019年以降会員拡大に成功し続けています。本年度も、会員拡大が重要な運動であると位置づけ、20名以上の会員拡大を目指します。

会員拡大の重要性を会員一人ひとりが理解することが、会員拡大成功の近道です。一人でも多くの志の高い仲間を迎え入れることは、より力強い運動・活動につながり、より良い変化をおおさきへ与えます。

世界各国には青年会議所会員が約17万人います。また日本だけでも約3万人の会員を有しています。志を同じくする青年会議所会員は、世界中どこでもすぐに友となれるのです。我々の活動エリアであるおおさきにおいても、志を同じくできる青年がまだまだ多くいるはずで、多くの仲間を迎え入れ、我々の運動・活動をともにすることは、我々が掲げる明るい豊かな社会の実現へと限りなく近づきます。おおさき青年会議所会員が一丸となり会員拡大を進めてまいりましょう。

【笑顔溢れる花火大会】

昨年度、私がおおさき花火大会実行委員長という担いをいただき、コロナ禍ではありましたが、感染症予防を徹底し、2019年以来に有観客で開催することができました。会員が一丸となり、子供たちの心におおさきの原風景を残すという目的のもとに取り組んだこと、そして子供たちの笑顔を今後忘れることはないでしょう。

おおさき花火大会は、おおさき青年会議所のメイン事業であり、おおさきの夏の風物詩として定着しています。おおさき花火大会ほどに、人の心を揺さぶり、感動を与える事業は他にありません。子供の頃の楽しい思い出は、大人になっても鮮明に記憶として残ります。そして、その記憶が地域に愛着を持つことにつながるはずです。

本年度も、おおさきの夏の夜空に大輪の花を咲かせ、笑顔溢れる花火大会を目指します。

【結びに】

私は2012年におおさき青年会議所に入会し、これまで青年会議所で学んできたことは私の貴重な財産となっています。真摯に地域と向き合う諸先輩、志高い仲間へ感化され、支えられて今日まで私は活動しています。昨今、多くの市民団体が存在し、「JCしかない時代」から「JCもある時代」と言われ、青年会議所の存在意義を問われることも少なくないかもしれませんが、これほどまでに、真摯に地域と向き合い、地域をより良くしようと、惜しまない努力を注ぎ、行動できるのは青年会議所だけだと確信しています。

That service to humanity is the best work of life.

人類への奉仕が人生最大の使命である

JCI クリートの最終節の言葉です。私が40歳を迎える年で理事長の職を預かり、今最も心に響く言葉です。このことを前提として、我々の血肉の通った運動・活動を展開することができます。

青年会議所において失敗という言葉は存在しません。地域を想い、惜しみない努力をした青年に、誰がそれを失敗と言うのでしょうか。挑戦せずに後悔するよりも、果敢に挑戦します。我々には、心強い仲間がいます。自分自身を鼓舞し、仲間を信じ、より良い未来にすべく邁進してまいりましょう。